

活動の内省 と目的設定 1 (9/14)

今週は私たちはデルレイウッズというの小学校サービスラーニングをはじめた。あそこのCPYのプログラムは80人の子供がいる。しかし、今週は私たちの授業は14人がいった。また、みんなは五年生だった。

最初の授業ので、初めに挨拶と自己紹介した。子供のみんなは名前や一つ日本について知りたいことや日本についてもう知っていることと言った。子供たちは答えたながら私はメモを取った。次にまだ教室がないので、何もいないの活動を選んでじゃんけんとじゃんけん列車をした。それから、一つ二つの日本語の言葉を教えようとしたのだが、まだ教室や何も道具がなかったのが難しすぎた。最後に、残り時間があつたので、だるまさんが転んだも遊んだ。子供たちにとってこういう活動は楽しかったとおもう。またアメリカのやつがあるので、じゃんけんと経験があつてもこの活動は少しだけ違うからほかの文化と出会うことを練習するのに良かったと思う。

私は子供と働くことが下手だと思うので、この授業前に子供と働いていることに緊張していた。また、子供を教えたことがないので、私たちは1年生とか子供を教えなくても五年生を教えることにした。一つの経験によるとそれはいい選択が分かった。そろそろ学生のみんなはもう迎えた時、私のグループは三人で日本語しゃべれてたから、一人の残り一年学生は「なんでフランス語で話しているの？」と質問した。私は「フランス語じゃなくても、日本語です」と説明した。でも彼は絶対わからなかつく「日本はなんですか」と質問した。本当に驚いた。やっぱり詳しくないことが多いとわかったのだが、そういう経験がないことからびっくりした。だから、授業以外やどうやったほうがいいのかわからなかつたのだが、ゼロから日本を説明しなければなかつた。とても難しかった。だから、五年生を教えることにしてよかつたと思う。でも授業以外に小さい子供と働くことに絶対もっと上手くなりたい。

ベンさんによると来週は教室がありそうだからもう一度ちゃんと一つ二つ日本語の言葉を教えてカタカナで子供たちの名前を見せるつもりだ。